



えんじゅ

春日市立春日小学校

校長室便り No.4

令和元年5月23日

文責：校長 福島

ハイタッチで始まる1日



私の1日は、校門での子ども達とのハイタッチで始まります。

いろんなハイタッチがあります。

優しくそっと手を合わせる子、パチンと音がするように元気にタッチする子、指1本でかわいく“ツン”とタッチする子、助走をつけてタッチする子、ぎゅっと両手で私の手を握る子、手にぶら下がった子もいました。私が手を上げて待っていると、手を上げて駆け寄ってくる子がたくさんいます。

約2か月、ハイタッチで子ども達を迎えてきましたが、とても意味あることだと感じています。ハイタッチをすると、笑顔になる子が多いです。子ども達の気分が上がるように、少し高く手をかざし、思い切り手のひらを開いて迎えます。「おはようございます」「おはようございます 行ってらっしゃい」心が通い合う感覚があります。言葉だけでなく、スキンシップを伴うことでより相手を意識することができます。

子ども達にとっては1日おきの些細な行為かもしれませんが、これを6年間積み上げれば大きな力として育つものがあると思います。「かすがっ子は、相手を大切にできる基本的な意識とスキルが育っている」ということを書いてきましたが、関係があるかもしれません。春日中の生徒もみな挨拶をします。

皆が行きたくなる学校でありたいです。家庭で心も体も満タんにし、元気に「行ってらっしゃい！」と送り出してください。おうちの玄関でのハイタッチもありかも…。